

2024年10月～12月

暗唱聖句

第四期

「ヨハネによる福音書の主題」

口語訳

第一課 一〇月五日 イエスは、この書に書かれていないしるしを、ほかにも多く、弟子たちの前で行われた。しかし、これらのことを書いたのは、あなたがたがイエスは神の子キリストであると信じるためであり、また、そう信じて、イエスの名によつて命を得るためである。 ヨハネ 二〇ノ三〇、三一 口語訳	第八課 十一月三日 しかし、わたしには、ヨハネのあかしよりも、もつと力あるあかしがある。父がわたしに成就させようとしてお与えになったわざ、すなわち、今わたしがしているこのわざが、父のわたしをつかわされたことをあかししている。 ヨハネ 五ノ三六 口語訳
第二課 一〇月一二日 イエスは彼女に言われた、「わたしはよみがえりであり、命である。わたしを信じる者は、たとひ死んでも生きる。また、生きていて、わたしを信じる者は、いつまでも死なない。あなたはこれを信じるか」。 ヨハネ 一一ノ二五、二六 口語訳	第九課 十一月三〇日 わたしは道であり、真理であり、命である。だれでもわたしによらないでは、父のみもとに行くことはできない。 ヨハネ 一四ノ六 口語訳
第三課 一〇月一九日 初めに言があった。言は神と共にあった。言は神であった。 ヨハネ 一ノ一 口語訳	第一〇課 十二月七日 神を見た者はまだひとりもない。ただ父のふところにいるひとり子なる神だけが、神をあらわしたのである。 ヨハネ 一ノ一八 口語訳
第四課 一〇月二六日 イエスは答えて言われた、「よくよくあなたに言っておく。だれでも新しく生れなければ、神の国を見ることはできない」。 ヨハネ 三ノ三 口語訳	第一一課 十二月四日 しかし、助け主、すなわち、父がわたしの名によつてつかわされる聖霊は、あなたがたにすべてのことを教え、またわたしが話しておいたことを、ことごとく思い起させるであらう。 ヨハネ 一四ノ二六 口語訳
第五課 十一月二日 彼らは女に言った、「わたしたちが信じるのは、もうあなたが話してくれたからではない。自分自身で親しく聞いて、この人こそまことに世の救主であることが、わかったからである」。 ヨハネ 四ノ四二 口語訳	第一二課 十二月二日 そこでピラトはイエスに言った、「それでは、あなたは王なのだ」。イエスは答へられた、「あなたの言うとおり、わたしは王である。わたしは真理についてあかしをするために生れ、また、そのためにこの世にきたのである。だれでも真理につく者は、わたしの声に耳を傾ける」。 ヨハネ 一八ノ三七 口語訳
第六課 十一月九日 そして、わたしがこの地から上げられる時には、すべての人をわたしのところに引きよせるであらう。 ヨハネ 一二ノ三二 口語訳	第一三課 十二月八日 あなたがたは、聖書の中に永遠の命があると思つて調べているが、この聖書は、わたしについてあかしをするものである。 ヨハネ 五ノ三九 口語訳
第七課 十一月六日 イエスは彼に言われた、「あなたはわたしを見たので信じたのか。見ないで信ずる者は、さいわいである」。 ヨハネ 二〇ノ二九 口語訳	

「SDA教団伝道局ホームページ(安息日学校部)」 『 <http://adventist.jp/evangelism/ss> 』

⇒ 聖書研究ガイド ⇒暗唱聖句表から 口語訳／新共同訳をダウンロード